

附中だより



令和4年6月24日発行

文責；附属中 萩原喜成

教育実習

6月3日(金)から始まった前期教育実習も本日が最終日でした。53名の教師の卵が15日間の教育実習に臨みました。



実習の先生として中学生の前に立ち、授業をしたり、様々な話をしたり、時には注意をしたりして、教師の仕事の一端を体験しました。最終日の本日は、午前中に各教科の代表が研究授業を行い、午後からは教科別の研究会を行いました。また、帰りの会ときには各クラスでお別れ会も開かれました。

この経験で、教師を目指す意思をさらに強くしてもらえたのであれば、とてもうれしく思います。また、これからの学生生活の中では、教師(社会人)になったときに、何にでも積極的に取り組み、困難や失敗に直面しても負けずに乗り越えられる力強さを身に付けてください。



終わることができました。

コロナ禍での教育実習でしたが、実習生自身の意識の高さと山梨大学と連携した感染症対策徹底の成果もあり、大きな混乱もなく

市総体選手壮行会

6月17日(金)・18日(土)に行われた甲府市中学校総合体育大会に向け、本校では6月7日(火)から部活動強化期間を設定して取り組みました。そんな中の6月13日(月)には、選手壮行会が行われました。コロナ禍のため、体育館には選手と生徒会本部、吹奏楽部、応援団しか集まれませんでしたが、



野球部部長と女子バスケ部部長の選手宣誓、各部の決意表明の後、吹奏楽部と応援団の応援で選手の士気を高めることができました。教室に残った生徒も、直接声援を届けることはできませんでしたが、心のこもった応援を行いました。

甲府市総合体育大会

総合体育大会は、屋外競技の一部で、ガイドラインに従い保護者の観戦が解禁されました。選手は試合ができることに感謝しながら、全力で戦いました。そこには、勝ち負けには関係なく、少しずつでも日常生活が戻ってきたことに感謝する姿がありました。三年生にとっては最後の大会となってしまった部もありましたが、満足感の溢れる姿が印象的でした。個人競技や個人戦ではたくさんの選手が県大会にコマを進めました。また、表にあるとおり、団体競技で好成績を収め、県総体に出場する部もあります。表の部以外にも、サッカー、バスケ(男子)、ソフトテニス(男子)、剣道(男子)が団体として県総体に出場します。

各部の団体成績

優勝	ソフトテニス(女) 卓球(女) 水泳(女)総合
2位	卓球(男) 柔道(女) 水泳(男)総合
3位	柔道(男) 剣道(女)

第1回事前研究会

7月1日(金)には、第1回事前研究会が行われます。今年度は研究主題「新たな価値を創造する生徒の育成～『主体的な学び』のプロセスモデルを生かした実践を通して～」による研究の初年度にあたります。各教科で研究協力員を依頼した県内の先生方に、全体研究と教科研究について説明して、3年間の研究として県内外に発信するにふさわしい研究であるかどうか意見交換をします。数学科では、研究内容をより分かりやすくするために、事前にビデオ撮影した研究授業を短時間に編集して、研究会の折に見てもらうように準備していました。



同時に、附属4校園(幼・小・中・特別支援)の共同研究もスタートします。これは、附属4校園の教育活動を貫いて育成を目指す子ども像である「未来を拓く子ども」の達成に向けての取組になります。各校園の子どもの発達段階や特性を考慮しながら、大学とともに4校園が相互に連携して非認知能力の育成を図る研究になります。